

笑顔あふれる学校

Smiling School 勝央中



勝央中学校 HP はこちら→ <https://www.town.shoo.lg.jp/site/shoo-jhs1000/>

勝央中学校だより No.16

令和8年3月25日(水)

勝央町立勝央中学校長

浦島 毅

TEL: 38-3148

令和7年度修了式を終えて ~1年間 大変お世話になりました~

校庭の桜のつぼみが、今にも咲き出しそうな暖かな春がやってきました。先日の卒業式。109名の先輩たちが、この学び舎を去っていきました。自分たちが精一杯頑張った足跡を振り返り、溢れる思いを歌声に託して、胸を張って歩き出す姿。あの凛とした後ろ姿を、皆さんはどんな思いで見つめていたでしょうか。

義務教育を終え、新しい世界へ飛び出した先輩たち。若者らしく大きな夢を持ち、泥臭く努力を積み重ね、それぞれの夢を叶えてほしい——。私は、今もその願いで胸がいっぱいです。

さて、1年生、2年生の皆さん。次は皆さんの番です。自分の進む道を見つけ、その道を切り拓いていく「力」をつけていくのは、まさに「今」からの時期です。

勝央町が目指す姿。それは「**自立に向かって学び続ける勝央っ子**」です。自分を大切にし、友だちを大切にし、そして自分たちが育つこの勝央町を愛する人になってほしい。そのために、私が皆さんに約束してほしいことが3つあります。

- ・「**自ら学ぶ力**」を育てること いきなり完璧を目指さなくていい。まずは、一時間一時間の授業を大切に受けること。家に帰ってから、少しでも自分から机に向かうこと。その小さな「当たり前」の積み重ねが、いつか皆さんの武器になります。

- ・「**豊かな心**」を持つこと その第一歩は「あいさつ」です。心の底から響くさわやかなあいさつは、相手の心を開き、温かな人間関係をつくる魔法になります。

- ・「**自分の行動に責任を持つ**」こと 毎日の生活を前向きに送ってください。「凡事徹底」。当たり前のことを、誰にも真似できないくらい徹底してやる。地道な努力を続けられる人こそが、本当にかっこいい大人です。

この一年、皆さんは本当によく頑張りました。授業で見せた真剣な眼差し、全校で泥だらけになって汗を流した体育会。学年ごとに絆を深めた修学旅行、職場体験、閑谷研修。そして、部活動での悔し涙や、仲間と分かち合った喜び。「一生懸命やることは、こんなに尊いんだ」「困難から逃げずに立ち向かうことは、こんなに自分を強くするんだ」皆さんは行事の一つひとつを節目にしなが、自分だけの、かけがえのない成長の足跡を残してきました。その自分を、今日はしっかりと褒めてあげてください。

今日は修了式です。一年の締めくくりであり、次の学年への「節目」の日です。竹に節があるからこそ、竹は強く、高く、天に向かって伸びていくことができます。この春休みを、ただの休みだと思わないでください。「この一年で、自分はどれだけ成長できたか」「新学期、自分は何を成し遂げたいか」自分を静かに見つめ直し、心を新しく入れ替える、大切な時間にしてください。

4月、皆さんが一回り大きくなった姿で、笑顔で登校してくるのを待っています。この一年、本当によく頑張りました。

令和8年3月25日

勝央中学校 校長 浦島 毅



3年生の卒業に向けて、1、2年生の皆さんが、クラス・委員会・学年などでさまざまな取組をしてくださいました。1月に入り「受験応援献立」「応援メッセージ」「応援ソング」などの取組を行い、2月からは、賛歌実行委員会による「歌練習」が行われました。卒業式直前の1、2年合同歌練習でのリーダーの声かけに、卒業式をより良いものにしたい思いがたまっており仲間にも伝わっていました。卒業式では、その思いを、態度や歌声で表現することができ、厳粛かつ感動的な式典になりました。また、会場準備や教室飾り付けを本気で行う姿を見ることができました。それぞれが「役割」を気持ちよく果たすことにより学校（社会）はまわっています。卒業式の取組も3年生のためだけではなく、自分たちがつくっていく勝央中学校、令和8年度の0学期の取組でもあるように感じました。4月には、新入生を迎えます。今後もよりよい勝央中学校を、皆さんで築いて行きましょう。



令和7年度 最後の表彰です。令和8年度が飛躍の1年となりますように

【令和7年度 勝田郡図工・美術審査会】

特選 國政 紗椰（2年） 高橋 利奈（1年）

準特選 末澤 歩果（1年）

【令和7年度 岡山県 明るい家庭づくり作文】

県佳作 鳥巢 沙織（2年） 町原 吏勇 水島 瑚都（1年）

【第183回 県下小中学校書き初め展覧会 勝田支部審査】

金賞 鳥巢 沙織（2年） 銀賞 岡部 芽生（2年） 水島 瑚都 奥野 さくら（1年）

銅賞 坂田 雄一 中島 直大 横山 芽依 谷上 晟（1年）

【第76回 美作市勝田郡英田郡児童生徒作文審査】

特選 柴山 未夢（1年） 準特選 藤本 南々美（2年） 末澤 歩果（1年）

【沖縄修学旅行に向けて】

18日、平和学習として「さとうきび畑の唄」を鑑賞しました。修学旅行は、最近の世界情勢をみても、平和について、命の大切さについて再度考える貴重な場となります。また、先日みんなで折った鶴を修学旅行実行委員がつなぎ合わせていました。準備をして臨み、この3日間を、学びも思い出も多い3日間にしていきましょう。

【生徒会執行部のあいさつ運動】

今年は、校内下駄箱前、あいさつ運動を行いました。1年間暑い日も寒い日も交代して行ってくれました。思考をこらした「今日は何の日」「あいさつ運動後のミーティング」、普段、私だけが立つよりも子どもたちのにこやかな表情をみることができました。4月からもよろしくお願いします。

【プラスフェスタみまさか】

22日、美作文化ホールで、「第10回 プラスフェスタみまさか」が行われました。近隣の中学校、高等学校が集まり日頃の練習の成果を交流しました。勝央中としては、卒業した3年生も参加しての久しぶりの演奏となりました。次に演奏を披露するのは入学式となります。限られた時間の練習となりますが、頑張っていくましよう。

【球技大会】

体育委員会では、球技大会を計画しました。16日に1年生が「ドッジボール、鬼ごっこ、サッカー」、17日に2年生が「サッカー」を実施しました。勝ち負けだけでなく、学年全体の友情や信頼関係が深まるひとときになりました。

【大掃除・ワックスかけ】

学年末の大掃除に楽しく本気で取り組んでいました。19日は、全員で教室などの大そうじをしました。放課後は、美化委員が教室を、23日は、廊下など広範囲のワックスかけを丁寧してくれました。

